

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科書	地歴公民	科目	地理探究	学年	3年次	単位数	3単位
教科書	東京書籍	地理探究	副教材	メディア 視聴票	2通	なし	2回
レポート 添削指導	9通	スクーリング 面接指導	3回	メディア 視聴票	2通	試験	2回
指導 目標	① 地誌的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉え、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。 ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。 ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア(NHK高校講座)	
1	4月12日	5月8日	【現代世界の系統地理的考察】 ・世界の地形 ・気候と人々の生活	○世界の大地形の分布の特徴についてプレート境界と地震帯・火山帯分布との関係から理解を深める。 ○変動帯に見られる小地形の一つである河川がつくる地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について理解する。 ○各気候区分類基準の理解をふまえ、南温帯やハイサーグラフの作成・読み取りを通して、各気候区について理解する。	2	1 地理的な探究をしよう！ 2 地球規模の大地形 3 多様な小地形 4 気候の成り立ちと生態系 5 世界の気候帯 6 日本の自然環境と自然災害 7 地球環境問題 8 持続可能な社会づくりと自然環境 9 現代世界の農業 10 世界と日本の食料問題 11 エネルギー資源 12 エネルギー問題 13 工業と工業地域 14 第3次産業 15 交通・通信と高度情報化社会 16 観光産業と観光振興 17 貿易と経済圏 18 持続可能な社会づくりと産業 19 世界の人口と人口移動 20 世界と日本の人口問題	
2	5月8日	5月22日	【現代世界の系統地理的考察】 ・日本の自然環境と自然災害 ・世界の環境問題 ・日本の環境問題	○日本の地形の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。 ○地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解する。 ○日本の環境問題の歴史的な経緯と現状をふまえた上で、問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解する。	2	11 エネルギー資源 12 エネルギー問題 13 工業と工業地域 14 第3次産業 15 交通・通信と高度情報化社会 16 観光産業と観光振興 17 貿易と経済圏 18 持続可能な社会づくりと産業 19 世界の人口と人口移動 20 世界と日本の人口問題	
3	5月22日	6月5日	【産業と資源】 ・農林水産業 ・食料問題 ・エネルギーと鉱産資源	○日本の農林水産業の特徴をふまえた上で、変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから理解する。 ○食料確保へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について理解する。 ○工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解する。	2	11 エネルギー資源 12 エネルギー問題 13 工業と工業地域 14 第3次産業 15 交通・通信と高度情報化社会 16 観光産業と観光振興 17 貿易と経済圏 18 持続可能な社会づくりと産業 19 世界の人口と人口移動 20 世界と日本の人口問題	
4	6月5日	6月19日	【産業と資源】 ・工業の立地と工業地域の変容	○工業の立地条件が複数の類型に区分できると、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について理解する。	2	11 エネルギー資源 12 エネルギー問題 13 工業と工業地域 14 第3次産業 15 交通・通信と高度情報化社会 16 観光産業と観光振興 17 貿易と経済圏 18 持続可能な社会づくりと産業 19 世界の人口と人口移動 20 世界と日本の人口問題	
5	6月19日	7月4日	【交通・通信・観光】 ・交通・通信 ・貿易と経済連携 【人口、村落・都市】 ・人口問題	○移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したこと、その一端を担う陸上・水上交渉の特徴について理解する。 ○情報通信技術の発達が高高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について理解を深める。 ○自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解する。 ○先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響についての理解をふまえ、それらを克服するための取り組みについて模索する。	2	11 エネルギー資源 12 エネルギー問題 13 工業と工業地域 14 第3次産業 15 交通・通信と高度情報化社会 16 観光産業と観光振興 17 貿易と経済圏 18 持続可能な社会づくりと産業 19 世界の人口と人口移動 20 世界と日本の人口問題	
6	7月4日	10月16日	【生活文化、民族・宗教】 ・生活文化の地域性 ・民族問題 ・現代の国家と領土問題	○文化についての定義の理解をふまえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について、多面的・多角的に理解する。 ○世界各地で生じている民族問題の背景について、国家や宗教との関わりから理解する。 ○国家の領域や国境の概念について、具体例をもとに理解する。	1	21 村落と都市 22 世界の都市・居住問題 23 持続可能な社会づくりと人口・都市問題 24 世界の衣食住 25 民族・宗教と民族問題 26 国家の領域と領土問題 27 地域区分と地誌的な考察方法 28 中国 29 韓国 30 ASEAN諸国 31 インド 32 西アジアと中央アジア 33 北アフリカとサハラ以南アフリカ 34 EU諸国 35 ロシア 36 アメリカ合衆国 37 ラテンアメリカ 38 オーストラリアとニュージーランド 39 日本の国土像を探る 40 探究課題を発表する	
7	10月16日	10月29日	【現代世界の地誌的考察】 ・項目ごとに整理して考察する 東アジア 東南アジア 南アジア	○世界の諸地域の地域的特色をとらえるための地誌的な考察方法について理解する。 ○国際社会における中国の影響力について、産業面や資源獲得競争、外交政策の面から理解するとともに、経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル圏集中の問題、解決へ向けての取り組みについて理解する。 ○東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化していることを理解する。 ○南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に理解するとともに、地域間協力の現状について、具体的事例をもとに理解する。	1	21 村落と都市 22 世界の都市・居住問題 23 持続可能な社会づくりと人口・都市問題 24 世界の衣食住 25 民族・宗教と民族問題 26 国家の領域と領土問題 27 地域区分と地誌的な考察方法 28 中国 29 韓国 30 ASEAN諸国 31 インド 32 西アジアと中央アジア 33 北アフリカとサハラ以南アフリカ 34 EU諸国 35 ロシア 36 アメリカ合衆国 37 ラテンアメリカ 38 オーストラリアとニュージーランド 39 日本の国土像を探る 40 探究課題を発表する	
8	10月29日	11月13日	【現代世界の地誌的考察】 ・北アフリカとサハラ以南アフリカ（二つの地域を比較する） ・ヨーロッパ地域統合に着目する	○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、産業と文化を指標に理解を深める。 ○ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について認識を深める。	1	21 村落と都市 22 世界の都市・居住問題 23 持続可能な社会づくりと人口・都市問題 24 世界の衣食住 25 民族・宗教と民族問題 26 国家の領域と領土問題 27 地域区分と地誌的な考察方法 28 中国 29 韓国 30 ASEAN諸国 31 インド 32 西アジアと中央アジア 33 北アフリカとサハラ以南アフリカ 34 EU諸国 35 ロシア 36 アメリカ合衆国 37 ラテンアメリカ 38 オーストラリアとニュージーランド 39 日本の国土像を探る 40 探究課題を発表する	
9	11月13日	11月27日	【現代世界の地誌的考察】 ・項目ごとに整理して考察する アンゴラアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア	○アンゴラアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解する。 ○ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について認識を深めるとともに、同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に理解する。 ○オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について、多面的・多角的に理解する。	1	21 村落と都市 22 世界の都市・居住問題 23 持続可能な社会づくりと人口・都市問題 24 世界の衣食住 25 民族・宗教と民族問題 26 国家の領域と領土問題 27 地域区分と地誌的な考察方法 28 中国 29 韓国 30 ASEAN諸国 31 インド 32 西アジアと中央アジア 33 北アフリカとサハラ以南アフリカ 34 EU諸国 35 ロシア 36 アメリカ合衆国 37 ラテンアメリカ 38 オーストラリアとニュージーランド 39 日本の国土像を探る 40 探究課題を発表する	
学習の成果に係る評価規準							
【知識							